

## 入社1～3年経過・若手製造実務者ご本人のための 「実力・成果向上対策」セミナー

単なる若手刺激策より、  
“気づき”と“自助努力”で作成する「実力向上策」を！

**解説**：若手の夢を実力発揮へ！  
本セミナーの目的は、JMA・中村が1～2回程度の研修を担当させていただいた後、御社で若手を育成される方に研修ノウハウの全て委譲する方式を運用することを目的に進める内容です。



### 【研修実施の目的】:

- ① 入社後の経過を見直し、将来の飛躍を図るため、② 関係者(上司や先輩など)の期待と課題と、ご本人の努力～成果創出の取り組みのミスマッチを防ぎ、
- ③ 自助努力方式で、ものづくりのキーパーソンになる仕事力を高める技術手段を身につける。

### 【研修前準備】

- ① 現在～近い将来取り組む内容を企画書化して持参する。
- ② 若手一般に望む課題と期待などを持参願う。
- ③ (1)現在の仕事、(2)3年後に実現したい課題や目標、(3)近い将来達成したい課題や目標、(4)現在抱えている問題、(5)研修に求める要件をまとめ持参する

### 【研修で整理するアウトプット】

- ① 同世代の出席者の活動を参考に、研修後に提出する企画書を仕上げる。(上司の承認後、実務展開へ)
- ② 上司、先輩、仲間が若手をどのように見て、期待しているか？を整理～把握する。
- ③ 研修メニューに準備された仕事の実務面で直接使う実力向上手法を習得。

### 1日目

#### 「現状の仕事と、“場”の見直し」

- 1, 持って育てる夢と目標の見直し  
プロに見る仕事感と実践
- 2, 先輩達に気にいられ技を盗むため  
知っていてもできるか？正しいマナー、  
5S～円滑なコミュニケーション(ホウ・レン・ソウ対策)
- 3, 人よりも早く、正しくできるか？  
“習得術”

### 2日目

#### 「仕事力向上へ向けた ステップアップ技術の練磨」

- 4, 確実に問題の原因をつかむ技術
- 5, 的確に問題発掘～改善を進める技術
- 6, 時間活用法による目標管理の  
早期具体化技術
- 7, まとめ  
なお、研修後、フォローアップが必要  
だが、この運用は別途相談